

令和３年度「なでしこ銘柄」に選定

三井化学株式会社　　2022年03月22日

三井化学株式会社（所在：東京都港区、代表取締役社長：橋本 修）は、女性活躍推進に優れた企業として経済産業省および東京証券取引所より、令和３年度「なでしこ銘柄」に選定されました。平成30年度および令和2年度に続いて、３度目のなでしこ銘柄選定となります。なお、令和元年度には「準なでしこ銘柄」に選定されました。

三井化学は、2021年に発表した長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオ変革によるビジネスモデルの転換を目指しています。その実現のためには、多様な価値観や感性に対する社内理解がますます必要になると考え、多様な人材が個性を失うことなく活躍できる組織風土の醸成に取り組んでいます。特に「女性の活躍推進」に関しては、重要な経営課題のひとつであると位置づけています。

仕事と家庭との両立支援を通じ、働きやすい環境の整備はすでに効果を上げてきておりますが、意思決定層の女性比率が低いという課題があり、女性の採用と育成、管理職層の意識改革などに積極的に取り組んでおります。 採用では、技術系・事務系総合職や一般職毎に女性採用の目標値を定めており、事務系総合職に関しては、過去5年間で約半数を女性が占めています。女性管理職比率に関しても目標値を設定し、管理職の意識改革研修や、部長層への登用計画のヒアリング、女性向けメンター制度などに取り組んでいます。また、取締役会の多様性を確保する目的で2006年より女性取締役を最低1名は置くようにしています。

これらの進捗や、ダイバーシティ推進の目安となる人事データは、ESGパフォーマンスデータとして可能な限り開示しており、特に女性管理職比率や採用比率に関しては、第三者認証を取得した信頼性の高いデータを公表しています。また、ダイバーシティ推進は、当社だけでなく社会全体で取り組むべきという認識から、女性に限らずマイノリティの活躍を目的とした社内セミナーなどの内容を、当社ウェブサイトやSNSで発信しています。

当社は、今後もダイバーシティの推進を通じて、社員一人ひとりが自らの強みを最大限発揮し、イノベーションを起こしていくような魅力ある会社を目指して取り組んでまいります。

■ 経済産業省ウェブサイト

https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/nadeshiko.html

■ 当社ウェブサイト （ダイバーシティ）

https://jp.mitsuichemicals.com/jp/sustainability/society/employee/diversity.htm